



菊花
Photo by 近江会員

第1527回例会報告

平成29年 10月 26日 (木) 雨

会長挨拶

会長 高山 巖

本日のお客様をご紹介いたします。当クラブの小口幹事が大変お世話になっている、2600地区RLI委員長をされている「作田永子」様です。RLIについての話や、元気な作田様ご自身の卓話などをじっくりお聞かせいただき、皆んなで勉強いたしましょう。



ベンチャーキャピタルという言葉をご存じでしょうか？知っておられる方はよほどの金持ちか、最先端知識・技術の持ち主です。

何となく、人工知能＝ロボットと思いませんか？ロボットは既に組み込まれたプログラムの中で思考することはできても、プログラム以外のことでは対応することができません。

グーグルやフェイスブックなど、世界的なIT企業が拠点を置いている、アメリカ・シリコンバレーに、ちょっと変わった日系の投資会社「ベンチャーキャピタル・WIL」という会社があります。ベンチャー企業とはその名の通り、冒険的事業を行う会社です。それらの企業を相手に投資・融資を行うわけですから、いわゆるハイリスクビジネスでもあるわけです。CEO（最高経営責任者）は、ベンチャー投資家の「伊佐山元」さんという日本人です。伊佐山さんは、大学卒業後「日本興業銀行」に入り、シリコンバレーにある「スタンフォード大学」に留学したあと、現地の投資会社に転職し幹部を務め、今の企業を立ち上げ現在に至っています。4年ほど前から日本の大企業とも提携を始め、大企業に眠っている技術を掘り起こして製品化したり、その大企業の30～40代の中間管理職層を特に指名して出向させて、彼らに現地にてベンチャーの開拓をってもらう、というアイデアを考えました。若い人より経験と胆力のある中年のほうがベンチャーに向いている…日本が世界のイノベーションの波でリーダーシップをとる一つのモデルとなる、との考えです。

★幹事報告

【報告事項】

1. 国際ロータリー2600地区青少年育成基金プロジェクト助成金の案内が来ました。
2. あずみ野RCより事務局員変更のお知らせが来しました。
3. 上田東RC、上田六文銭RCより、例会場の名前変更の案内が届きました。

【連絡事項】

1. 全国RYLA研究会in神戸の案内が来しました。
2. 地区大会で会長代理がお話された内容の資料が届きました。

【受領文書】

1. インタークト地区大会の報告書が届きました。
2. 上田六文銭クラブ20年の歩みが届きました。

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	37人	6名	9,000円	作田、RLI委員会様、本日はお忙しい中ありがとうございました。刺激的なお話を期待致します。高山 作田様、本日は大変お忙しいところお越しいただきありがとうございます。RLIでの御活躍などいろいろなお話を楽しみにしております。本日は宜しくお願い致します。職業奉仕委員会 宮澤孝良
出席対象	37人	累計	183,000円	
出席者数	26人	目標額	60万円	
出席率	70.3%	達成率	30.5%	
前回修正	81.1%			
♪今週のことば～続き～ 作田様、大変お世話になりました。本日はよろしくお願ひします。大澤邦彦 作田さんRLIでは大変お世話になっております。今日はお目にかかれる事を楽しみにしておりました。よろしくお願ひいたします。北原厚子 昨日、8年前 カウンセラーした、米山奨学生の李向軍さんと5年ぶりに再会致しました。松本歯科大学との交流事業で10月23日～27日のスケジュールで院長と同伴で先生3人と学生5人の来日です。小松孝弘				



会長挨拶～続き～

尾上会員 おめでとうございます
尾上会員の米寿のお祝いが開催されました。



伊佐山さんが大切にしている言葉が『議論するより行動を』です。伊佐山さんが2001年にアメリカシリコンバレーに渡り、そこで生活する中で見えた社会の変化が、物事が、すごくスピーディーになった。会議室で議論をしているくらいなら外に出てやってみよう。そうしていかないとこれからの世の中に対応できないと思ったのが背景にあります。

ITベンチャーが次の産業になっていく。伊佐山さんは、約10年の間に3000人以上の“起業家”と接してきたが、その多くがアメリカ人や中国人であり、日本人はほとんどいませんでした。

日本は、優秀な人材が、大企業に、希望を持って就職しているにもかかわらず、その大企業が大きすぎて、おもしろい才能や技術が表に出てこない。これからのベンチャーの担い手は、日本国内の大企業の中にはいるのではないかと考えた伊佐山さんは、シリコンバレーとつなぐことで、日本企業に、強い刺激を与えたいとこの会社を設立したとの事です。

『ソニーの子会社で採用が見送られていた、耳をふさがないイヤホン』『スマホがあれば、どこからでも操作できるドアの鍵』『航空会社向けの小型端末機で、これ1台あれば磁気カード・ICチップ・パスポートなどを呼び込める』等々、これまでに、この会社でシリコンバレー一流を体感した大企業の社員は11人。伊佐山さんは「この取り組みが企業だけでなく、日本社会全体を変えるきっかけとなることを願っています」と夢をカタチにしようとしています。

ひとつひとつのビジネスをとっても紹介できませんが、ちょっとした物の見方を変えるだけで世界が変わる、凄いビジネスがあるものだと 私のヒトミは輝きました。

～「わたしとロータリー」～

RLI委員会 作田 永子委員長

本日は卓話にお招きいただき誠に有り難うございます。

まず、私の出身はお隣の岡谷市でございますし、この下諏訪は毎年下社へ初もうでに来させていただいておりますので馴染み深い土地でございます。ですから、卓話と言うご依頼が有りました時は軽い気持ちで受けてしまっただけで少々心もとないので会員の皆様に満足して頂くようなお話が出来ますか不安もございます。(Rの友情を信じてどうぞしばし我慢してください)



卓話中の作田様

私がロータリーに入会した時からはや23年たちました。若くて物知らずで、ただロータジの会員の皆様に迷惑を掛けず、会員としての資格を身に着けようという思いで毎週の例会をこなしていたように思います。私を誘って下さったのはJCの大先輩でした。他のお誘いなら2つ返事で引き受けていたと思いますが私はロータリーを知っておりました。社長がロータリアンでしたし、私の父は岡谷ロータリーの初期に関わっていたからです。「私のような者がロータリーに入ると良いのか」と本気で考えましたし、ロータリーの格とか品位とか私にはそれが有るのだろうか？会社を初めて7.8年たった頃で社長である主人を差し置いて「わたしが？」という思いも有ったのですが「お前がやりたのなら」と言ってくれた主人や、同時期にソロプチミストさんも発足してそちらからもお誘いが有りどうせ入るんなら私はロータリーと思ったことも事実です。居住まいを正し、背筋がすっと伸びる思いであったと思います。

晴れて入会して、チャーターナイトを経験することが出しました。三井ガバナー年度の事でもございました。本当にあっという間の20数年です。今思います。ロータリアンの資格は入会してから勝負だと、どんな思いで入るのかはそれぞれでしょう、でも入ってからどんな影響を受けどう人間として成長するか、自分と言う個性はおそらく変わらないと思いますが、幅が出来、懐が深く成長させてくれるのはロータリーの潜在している大きな力だと思っております。もちろん自分のクラブ

各地RC RLI活動の様子



京丹後RCの様子

だけではなく他のロータリアンに救いを求めたり、助言を頂いたりはこの私には欠かせないことでした。ほんとにロータリアンは親切で求めれば、誤解を恐れずに言えばおせっかいなくらい答えてくれました、今の私が曲がりなりにもロータリアンとして成立しているとすればロータリーと言う教育を受け続けた結果なのだと思います。



千葉RCの様子

さて、クラブ以外の他のロータリアンに影響を受けたと先ほど申し上げましたが今私共が受け持っておりますRLIはロータリアンの研修機関という位置づけが最もあてはまるものかと思いますが、この諏訪湖クラブさんでは毎回参加者を出して頂き今年度は北原様、過去には小口幹事様も参加して頂きDLとして活躍されております。

今年度でRLIは6年目に入りましたが、RLIをやり始めたころは全く理解されずもちろん参加された方には評判も良く意義ある事だと主催側は思っているも地区会議などでは「RLIって何」と言う状況でした。DL(ディスカッション・リーダー)も6名を確保するのにやっとで9時から5時まで6セッション立ちっぱなしで疲労困憊でした。



浦和ダイヤモンドRCの様子

堀川PGが2600地区において、「ロータリーの研修が全く足りていないもっと底上げをしないと」と言う思いでRLIを導入したのです。彼がたった一人で立ち上げたと言っても過言ではありません。まだこのRLIを採用している地区は少ないのが現状です。やっている地区でも次期会長を対象にしている修了者が10数名とかこの地区では毎年40名以上が終了書を受け取っておりますし、ロータリー歴も0年から25年を超えられる方まで、経験も年齢もさまざまバラエティーに富んでいます。それが2600地区のRLIが成功しているおかげかとも思います。その年度のガバナーのご理解が無ければここまで絞いてはいないでしょう。PETSや地区協にしてもRIではRLI方式を推奨していますからこの方式が定着していくことが、クラブレベルを超えるロークリアンを育てることになるんだと思います。

ロータリーの事のみ50分のセッションを合計20回、参加される方も本当にご苦労様ですが受け入れるDLも参加して良かったと思えるように研鑽を重ねてまいりました。現在「DLをやりたい」という委員も含め16名態勢を取れるまでになりました。経験してみたいという会員の方が居れば。一回の参加でも結構ですからセッションに参加されることをお勧めします。



やまとに西和RCの様子

私が小口直久さんをリクルートしてDLに成って頂いたのですが「職業奉仕」についてのセッションの際、彼は「経営者なら当然のことですよね。」と言ったのです。立派なロータリアンだと思いました。彼は将来地区に出て行って活躍して欲しい人材だと確信した瞬間でした。RLIの修了者から未来の地区役員やガバナーとしての素地作りをして欲しいそれがRLIの委員長として夢見る事です。

まじめに話しましたが結構バカやってることが多く、突っ込みどころ満載の性格です。こんな話で良かったでしょうか？諏訪湖の会員の皆様も我慢して聞いて下さり本当に感謝申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。
また、お会いするのを楽しみにしております。